

令和8年度 第60回グラインディング・アカデミー 切削加工の基礎—基礎から最新技術まで— 開催報告

【(公社)砥粒加工学会 企画委員会】

1. はじめに

令和8年2月19日(木)に、第60回グラインディング・アカデミー「切削加工の基礎—基礎から最新技術まで—」を、オンライン会議システムにて開催しました。本アカデミーでは、第59回グラインディング・アカデミー(対面)で録画した講義を、受講生に視聴していただきました。これは一般的に、「疑似ライブ配信」と呼ばれる配信方法になります。質疑応答時には、講師にリアルタイムでオンライン参加していただき、インタラクティブに講義内容を理解いただけました。前回のグラインディング・アカデミーに都合が悪く参加できなかったみなさまには、絶好の機会となりました。当日は、企業からの技術者、研究者など24名が有意義な講義を聴講し、大盛況の内に無事終了いたしました。

2. 講習会の内容

冒頭で企画委員長の磯部 浩巳先生(長岡技術科学大学)が挨拶し、企画の意図が説明されました(図1)。その後、「切削加工の基礎」として東京電機大学の松村 隆先生より、以下の内容でご講義いただきました(図2)。

切削加工の基礎Ⅰ(切削機構と切削力)

切削加工の基礎Ⅱ(切削温度)

切削加工の基礎Ⅲ(工具摩耗)

切削加工の基礎Ⅳ(精度・仕上げ/切削特性の評価と応用)

いずれの講義も動画も交え、大変丁寧にご説明いただきました。また、会場では複数の参加者から質問があり、対面開催での最大のメリットである講師と受講生間でのインタラクティブな講義が行われました。

次に、オークマ株式会社の安藤 知治様(図3)より「切削に関する技術紹介と加工事例」についてご講演いただきました。講義におきましては、社内での事例を交えながら、切削時のびびり振動に対する対策や工具折損の防止、加工状態の監視システムなどについて詳細にご講演いただきました。

3. おわりに

グラインディング・アカデミーでは、砥粒加工学会の根幹となる分野に関する基礎講座を企画し、学び直したい技術者、新入社員、大学院の学生の最新技術の紹介も行っています。毎回、充実した内容の講義が行われ、大変有益な講座になっています。今回のアカデミーでは、オンラインにて、切削加工の基礎的なモデルから、切削温度や工具摩耗など初学者にも優しい内容から、実際の工作機械での加工例やびびり対策など、製造現場での視点も知ることがで

きる大変有意義な講義となりました。今後もグラインディング・アカデミーに奮ってご参加頂きたいと思っております。

次回のアカデミーでは、令和8年6月11日(木)に、「研磨加工の基礎—基礎から最新技術まで—」を、立命館東京キャンパスにて開催します。もう一度学習したい技術者や新入社員、大学院の学生の皆様方の多数の聴講をお待ちしております。

最後に、今回の講習会において貴重なご講義をいただいた講師の先生方に、厚くお礼申し上げます。

(文責:企画委員 小玉 脩平, 東京都市大学)



図1 長岡技術科学大学 磯部 浩巳 先生



図2 東京電機大学 松村 隆 先生



図3 オークマ株式会社 安藤 知治 様